

自転車のまち推進計画後期計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 28 年 2 月 10 日 ～ 3 月 1 日 まで
- (2) 意見の応募者数 3 名 (男性 2 人, 女性 1 人)
意見数 14 件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数		1	2			3

2 意見の処理状況

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	2
C	計画の参考とするもの	8
D	計画に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	4
	計	14

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	鬼怒川サイクリングロードをサイクリングの利用促進につながるような重要な拠点として活用する施策を実施してほしい。	B	サイクリングロードにつきまして、日常生活の移動はもとより、余暇活動にも利用できるなど、多様な自転車の利用促進が図れる重要な地域資源でありますことから、本計画において、鬼怒川など4河川のサイクリングロードの整備を重点事業として位置付けているところであり、積極的な整備や利用促進に向けた取組を進めてまいります。
2	中心市街地における駐輪対策として、ドンキホーテ前の歩道の違法駐輪に対する取り締まり強化やまちなかの空き地を活用した駐輪場の整備を促進してほしい。	B	中心市街地におきまして、安心して買物などを楽しむため、良好な通行空間の確保や駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備が必要であると考えておりますことから、本計画において、中心市街地における放置自転車対策の強化や小規模駐輪場の整備検討などを駐輪対策に盛り込んだところであり、これらの事業を着実に取り組んでまいります。
3	鬼怒川サイクリングロードの利用促進にあたり、LRTの停留場を鬼怒川やサイクリングロード付近に整備するとともに、停留場からサイクリングロードへつながる道路を整備してほしい	C	サイクリングロードとLRTを利用することで、自転車ネットワークの強化につながりますことから、鬼怒川サイクリングロード付近に設置するLRT停留場に駐輪場の整備や、駐輪場とサイクリングロードを結ぶ路線に自転車レーンの整備などを検討してまいります。
4	LRTに自転車専用の車両又は車両の一部を連結させてほしい。またバスについても自転車の積載を可能にしてほしい。	C	本市が目指すネットワーク型コンパクトシティの形成にあたりまして、自転車とバスやLRTなどの公共交通との連携を強化することは重要な取組でありますことから、ご提案事項につきましては、LRTへのオフピーク時における自転車積載の可能性について検討を行う中での参考意見とさせていただきます。
5	バスで中心市街地に来街した際、すぐに自転車を利用でき、移動範囲の拡大につながるよう、以下の場所に「サイクル&バスライド+レンタサイクルステーション」を設置してほしい。 ・循環バスきぶなの主要停留所付近 ・大通りの各バス停（宮の橋～桜通り十文字）	C	レンタサイクルにつきましては、移動手段として多くの方に利用され、中心市街地における回遊性の向上につながっておりますことから、ご提案事項につきましては、今後、レンタサイクルの拡充を検討する中での参考意見とさせていただきます。

6	平石地区市民センターにレンタサイクルを配置し、鬼怒川を中心としたサイクリングの拠点としてほしい。	C	サイクリングロードの整備や宮サイクルステーションの運営などにより、自転車による余暇活動の促進や健康増進などに取り組んできたところであり、鬼怒川付近にレンタサイクルを配置することで、サイクリングスポーツのさらなる振興などにもつながりますことから、レンタサイクルの今後の取組について検討する中での参考意見とさせていただきます。
7	JR宇都宮駅周辺の駐輪場について、「JR西口新幹線高架下駐輪場の閉場時間の拡大(22時から0時)」、「ヘルメットなどの荷物の預かり」、「JR宇都宮駅東口第二駐輪場への上屋の設置」を行ってほしい。	C	駐輪場における運営時間の拡大や上屋の整備などのサービスの充実に取り組むことにより、駐輪場の利用促進につながりますことから、ご意見を参考としながら、引き続き、駐輪環境の向上に努めてまいります。
8	自転車に子どもを乗せる際、子どものシートが一体的な「子ども乗せ自転車」や、高齢者向けの三輪自転車など、より安全性の高い自転車に対する購入補助を行ってほしい。	C	「子ども乗せ自転車」や三輪自転車など安全性の高い自転車の利用促進に関する補助制度について、ニーズを踏まえ、他都市の取組事例や実施効果などについて調査を行ってまいります。
9	降雨時の走行の際、レインコート着用の走行を促進してほしい。また、レインコートの取扱店を増やすことや宇都宮オリジナルデザインのレインコートの開発なども行ってほしい。	C	傘差し運転の禁止などの自転車の安全利用につきましては、交通安全教室などで啓発しているところであり、引き続き取り組んでまいります。 また、本市オリジナルの自転車用品の開発などにつきましては、「自転車のまち宇都宮」のPRにつながりますことから、自転車のまちの情報発信に関する取組の参考とさせていただきます。
10	強風や雷、炎天下などの悪天候の際、走行時の注意を促してほしい。	C	天候などを踏まえた安全なサイクリングの促進につながるよう、自転車マップや宮サイクルステーションなどを活用した情報発信のひとつとして、参考とさせていただきます。
11	鬼怒川サイクリングロードについて、柳田大橋から鬼怒橋までの平石地区を1周する周回コースを活用し、平石地区におけるサイクリングイベントの拡大を図りたい。	E	サイクリングロードにつきましては、日常利用に加え、余暇活動や健康増進などさまざまな効果が見込めるとともに、景観を楽しみながら快適に走行できる空間であります。 現在、整備に取り組んでおります鬼怒川サイクリングロードを活用した周回ルートにつきましては、サイクリストからファミリー層まで幅広い利用が期待できる地域資源となりますことから、サイクリングイベントなどで積極的に活用していただければと思います。
12	いちょう通りのブルーの自転車レーンは安心して走行できる。	E	自転車が安全で快適に走行できるよう、幹線道路やJR宇都宮駅周辺等の自転車交通量の多い路線などに、自転車レーンの整備を進めているところであり、また、整備を行うことで自転車事故の抑制につながりますことから、引き続き、取組を進めてまいります。
13	クロネコヤマトに対して、市内中心市街地の配達の際にリヤカー付き自転車を使用してもらおうよう促す。	E	「自転車のまち宇都宮」のPRにあたり、民間企業と協力した取組は効果的でありますことから、自転車のまちの情報発信の取組のひとつとして参考とさせていただきます。
14	自転車に関する事故にあった場合、「相手の連絡先を聞く」、「当て逃げの対処法」、「示談や賠償のノウハウ」などの事故対応のガイドラインを作成指定してほしい。	E	自転車事故の対処法につきましては、交通管理者及び保険会社などがより適切な対応を行えるものと考えておりますが、安心して自転車を走行できる環境づくりの取組のひとつとして、参考とさせていただきます。